

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	17HP2011	事業期間	平成29(2017)年度～ 令和3(2021)年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
季刊誌から隔月刊誌への移行による国際情報発信力強化の取組		日本先天異常学会	理事長・小崎 健次郎
学術刊行物の名称			(略称)
Conigenital Anomalies			

【令和元(2019)年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
○ A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
(意見等)	
<p>1) 計画通り、当該学会誌 Conigenital Anomalies が季刊誌から隔月刊誌に拡充し継続刊行されていること</p> <p>2) インパクトファクターの数値やダウンロード数などの数値目標を、本事業の中間段階で当初目標から上方修正を行っていること</p> <p>3) 英文論文の投稿・査読・倫理性などのセミナーの積極活用や Virtual Issue などの編集は、今後の発信力強化を期待させること</p> <p>以上の理由でおおむね順調に推移している。</p>	
(改善点)	
<p>当該学会のホームページにて、英文誌 Conigenital Anomalies のページには改善の余地があると思われる。</p>	